



No.99 2011・4・20

ISHIKAWA-KEN HISTORY MUSEUM

発行 石川県立歴史博物館  
〒920-0963 金沢市出羽町3番1号  
TEL.076(262)3236 FAX.076(262)1836  
<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/rekihaku/>



ISHIKAWA-KEN  
HISTORY  
MUSEUM

れ  
き  
は  
く

春季特別展

# くらし&娯楽の大博覧会

—昭和ヒストリー 1926～1989—



隣組湯呑茶碗  
昭和16年頃

隣組の常会で使用された湯呑茶碗。隣組を啓発宣伝する歌と、障子の隙間から回覧板を見る女性が描かれる。

隣組は昭和14年に成立し、約10戸を単位として地域の消防や灯火管制などを行った。翌年には制度化され、国策遂行に協力する行政の末端組織として防空防火・配給・供出・動員などの役割を果たすことになる。各家庭の連絡には回覧板を使い、昭和16年からは定期的に「常会」が開かれ、全戸からの出席が求められたという。隣組の組織強化のため、ラジオでは国民歌謡「隣組」が流され「常会の時間」という番組まで新設された。

- 会 期 4月23日(土)～6月5日(日)  
会期中無休
- 会 場 第1特別展示室・第4展示室
- 開館時間 午前9時～午後5時  
(入館は午後4時30分まで)
- 入 館 料 一 般 500円(400円)  
大学生 400円(320円)  
高校生以下無料  
65歳以上の方は400円  
( )内は20名以上の団体料金

## 関連イベント

- トークショー「コレクター、昭和を語る」
- 日 時 4月29日(金・祝)午後1時30分～3時
- 会 場 学習ホール
- ゲスト 上田輝一氏(昭和資料コレクター)
- 司 会 本谷文雄(当館学芸主幹)
- 申込不要・聴講無料(展覧会観覧の場合は入館料が必要)

## ギャラリートーク

- 日 時 4月24日(日)「昭和の娯楽」  
5月 8日(日)「昭和のくらし」  
いずれも午後2時～(1時間程度)
- 会 場 第1特別展示室・第4展示室
- 担 当 当館学芸員  
申込不要・要入館料

春季特別展

くらし&娯楽の大博覧会

昭和ヒストリー 1926~1989

キーワードでたどる昭和

昭和六十四年間の流れを、キーワードでたどってみました。ほぼ時代順に並んでいるので、昭和の出来事・流行・時の人などで昭和のくらしと娯楽を振り返ってください。

- 戦前・戦中 昭和元年~二十年 昭和改元 金融恐慌 芥川龍之介自殺 地下鉄 モガ・モボ 普通選挙 即位礼 織田幹雄 人見絹枝 ツエッペリン伯号 大学は出たけれど カフェ 黄金バット のらくろ 満州事変 肉弾三勇士 満州国建国 国防婦人会 五・一五事件 白木屋出火 銀座の柳 小林多喜二

- 国際連盟脱退 東京音頭 皇太子明仁誕生 特急あじあ号 暁の超特急 芥川賞・直木賞 怪人二十面相 二・二六事件 阿部定事件 国会議事堂 日中戦争 千人針と慰問袋 川端康成・雪国 勤労勲章 代用品 双葉山 パーマネント廃止 国民徴用令 興亜奉公日 ぜいたくは敵だ 大政翼賛会 国民服 紀元二千六百年 八紘一宇 湖畔の宿 李香蘭 国民学校 太平洋戦争 防空ずきん ゲートル 大日本婦人会 金属類回収令 ミッドウエー海戦 撃ちてしまむら 山本五十六 学徒出陣 一億国民総武装

- 神風特攻隊 B29 東京空襲 広島・長崎原爆投下 玉音放送 戦後 昭和二十年~六十四年 マツカースー 墨塗教科書 GHQ 国際連合成立 婦人参政権 農地改革 サザエさん 東京裁判 日本国憲法 カストリ リンゴの歌 額縁ショー 男女共学 第一回参院選 鐘の鳴る丘 古橋広之進 肉体の門 太宰治・斜陽 美空ひばり 福井大地震 東京プギウギ 下山事件 フジヤマのトビウオ きけわだつみのこえ 青い山脈 山本富士子 朝鮮歌合戦 紅白歌合戦 講和会議 羅生門 ニッポン日記 カルメン故郷に帰る 君の名は 白井義男 テレビ本放送

- 内灘闘争 八頭身 マリリン・モンロー ブロレス人気 第五福竜丸 自衛隊 洞爺丸 三種の神器 ローマの休日 七人の侍 二十四の瞳 ゴジラ ヘレン・ケラー 太陽の季節 船橋ヘルスセンター 神武景気 家庭電化時代 猪谷千春 日本住宅公団 マナスル初登頂 売春防止法 もはや戦後ではない 国際連合加盟 貨本マンガ 太陽族 一億総白痴化 南極観測船・宗谷 スプートニク1号 石原裕次郎 バナナ・ポート 有楽町で逢いましょう 栃若時代 口カビリー スバル360 長嶋茂雄 神様、仏様、稲尾様 特急こだま号 東京タワー ミッチー フラフープ 月光仮面 皇太子御成婚 山中毅

- マイカー時代 黒い花びら 岩戸景気 ハイライト カラーテレビ本放送 国民所得倍増計画 ダツコちゃん インスタント 性生活の知恵 東洋の魔女 柏嶋時代 レジャー 植木等・スゲラ節 上を向いて歩こう 堀江謙一 スモッグ コカ・コーラ 三八暴雪 鉄腕アトム ケネディー暗殺 ボウリング 三ちゃん農業 三ちゃんには赤ちゃん 高校三年生 ミロのウィーナス 東海道新幹線 東京オリンピック アベベ チャスラフスカ おそ松くん・シェー いざなぎ景気 エレキギター 公害 人口一億人 交通戦争 おはなはん 白い巨塔 ミニスカー ト 怪獣ブーム 三億円強奪 昭和元祿 ハレンチ

- 東名高速道路 アポロ11号 オー・モーレッツ 男はつらいよ 日本万国博覧会 光化学スモッグ 歩行者天国 知床旅情 ラジオ深夜放送 ドルシヨック 日活ロマンポルノ ボウリング ホットパンツ 横井庄一 浅間山荘事件 札幌オリンピック 日本列島改造論 カシオミニ パンダ ハイセイコー 石油シヨック デイスカパー・ジャパン オセロゲーム 省エネ 小野田寛郎 モナ・リザ展 ベルサイユのばら 愛国駅から幸福駅 マイナス成長 狂乱物価 沖縄国際海洋博覧会 赤ヘル SL 紅茶キノコ 五つ子 ロッキード事件 南北ベトナム統一 ジョギング ミラー・種まく人 マイルドセブン 王貞治本塁打世界記録 日航機ハイジャック カラオケ

- 日中平和友好条約 キャンデイズ 江川卓 デイスコ 窓ぎわ族 インペーター・ゲーム ウォークマン 東京サミット ドラえもん ワープロ ルービック・キューブ ポートピア'81 蜂の一刺し 宅急便 アラレちゃん 窓ぎわのトットちゃん 北の国から 東北新幹線 テレホンカード E・T 東京デイズニerland パソコンとワープロ おしん 科学万博 日航機墜落 いじめ ファミコン 三原山大噴火 新人類 子猫物語 男女七人夏物語 ゴッホ・ひまわり 国鉄からJR 青函トンネル 地価高騰 瀬戸大橋 リクルート事件 ふるさと創生 昭和天皇崩御



昭和18年 愛国百人一首



昭和17年頃 陶製防衛食容器



昭和14年  
愛染かつら 完結篇  
ポスター 当館所蔵



昭和13年  
レコード 愛国行進曲



昭和7年  
産業と観光の大博覧会 メダル



戦前・戦中  
明治ミルクキャラメル 箱



戦前・戦中 ポスター  
資生堂コールドクリーム 当館所蔵



戦前・戦中 アカネ歯磨



戦前・戦中 電気扇風機



昭和初期 闘球盤



昭和22年 石川国体パン  
フレット



昭和21年  
獵奇 カストリ雑誌  
復刻



昭和10年代 子供用着物



戦前・戦中 文化タキツケ  
皇軍慰問用



昭和54年発売  
ウォークマン ソニー



昭和35年 ダッコちゃん



昭和39年 東京オリンピック  
開会式・閉会式 入場券



昭和30年代  
人形 少女とスピッツ



昭和24年 原子双六



昭和20年代 女用ヌリエ折本

「当館所蔵」の表記のないものは全て個人蔵です。

# 貸出中の館蔵品

## 他の施設でも見られる歴博の貴重資料

歴博の館蔵資料は総数約十七万点にも及びますが、その一部は、県内外を問わず、他館の展覧会に貸し出されるものが少なくありません。また放送局や出版社へのポジフィルムなどの貸し出しも、よく行われています。展覧会や催し物などに比べるとあまり知られていない業務ですが、これも博物館の重要な仕事の一つなのです。

- ・「珠洲 秋草文壺」(石川県指定有形文化財)
- ・「珠洲 大甕」
- ・「珠洲 綾形叩き壺」
- ・「珠洲 双耳水注」

計四点

特別展「古陶の譜 中世のやきもの 六古窯とその周辺」  
(巡回展)

四月二日(土)～五月二二日(日)

会場：愛知県陶磁資料館

(愛知県瀬戸市・〇五六一 八四 七四七四)

- ・「芳春院画像」(複製)
- ・「大坂の陣図屏風」
- ・「前田利家遺言状」(写)
- ・「紅糸威仁王胴具足」ほか

計六点

企画展「利家夫人 まつ」

四月二二日(金)～六月五日(日)

会場：射水市新湊博物館

(富山県射水市・〇七六六 八三 八)

- ・「SPレコード」ほか
- ・「蓄音機 HMVルミエール」
- ・「蓄音機 エジソンタイプ スタンダードモデルB」
- ・「蓄音機 HMVルミエール」

計八件十七点

## 「レトロ展」(蓄音機編)

四月一日(金)～五月三十一日(火)

会場：石川四高記念文化交流館

(金沢市・〇七六一 二六一 五四六四)



HMVルミエール



珠洲 大甕



芳春院画像(複製)



大坂の陣図屏風



紅糸威仁王胴具足

## 主な刊行物の「案内」

石川県立歴史博物館展示案内

(税込定価) 一〇〇〇円

石川県立歴史博物館蔵品目録

三、五〇〇円

モダンの調へ 蓄音機

二〇〇円

太子信仰と北陸 聖徳太子へのあこがれ

二〇〇円

永光寺の名宝

二〇〇円

紀尾井町事件 武士の近代と地域社会

七〇〇円

祝い絵 ディスブレイの民俗誌

二〇〇円

能楽 加賀宝生の世界

二〇〇円

利家とまつが生きた時代 戦い・くらし・女たち

九〇〇円

景勝をめぐる いしかわの景観史

二〇〇円

いしかわの歌仙絵馬

四〇〇円

風俗画伯 巖如春 都市の記憶を描く

四〇〇円

源平合戦と北陸 義経伝説を育んだふるさと

六〇〇円

加賀百万石への道 戦国から太平へ

二〇〇円

昭和ワンダーランド モノでたどる戦後

二〇〇円

石川のお宝史 名宝から文化財へ

三〇〇円

弥生ムラの風景 越のクニ生み・境界・交流

二〇〇円

御用絵師梅田九栄と俳諧 芭蕉の教えを守った男

三〇〇円

肖像画にみる加賀藩の人々

四〇〇円

×OSOMI百・華・線・乱 丸紅所蔵衣裳名品展

五〇〇円

春日懐紙

五〇〇円

本願寺展 世界遺産の歴史と至宝

二、三〇〇円

トキ舞う空へ 鳥と人の文化史

二、〇〇〇円

徳川将軍家と加賀藩 姫君たちの輝き

二、〇〇〇円



総合カウンターで販売中。定価はすべて税込。郵送ご希望の方は、当館へ直接お問い合わせいただくか、当館ホームページ「刊行物案内(図録等)」をご覧ください。(電話〇七六一 二六一 三三三六)

「れきはくコレクション2010 - 資料が語る石川の歴史 - 」終了



三月二十一日、好評のうちに終わった「れきはくコレクション2010」が幕を閉じました。この企画展示は、今年度内に皆様方からいただいた寄付資料や購入資料を公開するもので、毎年恒例となつていま

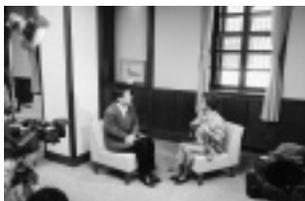
す。特に、鉄道関係資料の中では三月十一日に運行を終えた特急「雷鳥」に関する展示が注目を集め、そのほかにも多くの資料がお披露目され、三十一日間の日程を終えました。

「新春を祝う - ウサギがいっぱい - 」終了

今年、平成二十三年は卯年。これにちなんで新春企画展示は、平成十一年度夏季特別展「うさぎワンダーランド」以来の一大ウサギコレクション、「ウサギがいっぱい」をメインに開催されました。そして、三十四日間にわたって各方面に話題を振りまきながら、盛況の内に終了しました。いろいろなウサギグッズは、小さな子どもたちからお寄りまで幅広い年代のお客様に楽しんでいただきました。



催事日録



脇田館長の「受章記念講演会」が行われた二月五日の午前、NHK金沢放送局による館長のインタビュー（テレビ収録）が行われました。ニュース番組「かがのとイブニング」内「注モク人」のコーナーのための収録で、多くのスタッフが来館して大がかりなものとなりました（三月三日放映）。また、収録当日の夜には、金沢市内のホテルにおいて受章記念祝賀会も開かれ、脇田館長は大忙しの日でした。

平成二十二年度十一月、当館の脇田館長が文化勲章を受章されました。そして、これを記念した「文化勲章受章記念講演会」が、二月五日の午後、当館学習ホールにおいて開催されました。「私の歩んだ道」と題して、様々なエピソードを交えながら自身の経験を語っていただきました。当日は大きな反響があり、予想を大きく上回る方々の参加をいただき、会場は熱気に包まれました。



脇田館長 文化勲章受章記念 その二

脇田館長 文化勲章受章記念講演会 開催

展示替え等による休館日（4～7月）  
4月21日（木）・22日（金）  
5月 休館日なし  
6月6日（月）・7日（火）  
7月14日（木）・15日（金）



常設展示ワンポイント解説



れきはくゼミナール

常設展示ワンポイント解説  
常設展示室の資料を、当館学芸員がワンポイント解説します。原則として毎月第1金曜日に実施。時間は午後2時から約30分。どなたでもご参加できます。  
れきはくゼミナール  
当館学芸員が歴史や文化に関する様々なテーマを取り上げてお話しします。原則として毎月第3土曜日に実施。時間は午後2時から約1時間30分。どなたでもご参加できます。

常設展示ワンポイント解説  
常設展示室の資料を、当館学芸員がワンポイント解説します。原則として毎月第1金曜日に実施。時間は午後2時から約30分。どなたでもご参加できます。  
れきはくゼミナール  
当館学芸員が歴史や文化に関する様々なテーマを取り上げてお話しします。原則として毎月第3土曜日に実施。時間は午後2時から約1時間30分。どなたでもご参加できます。

月日	行事	内容
5/6 (金)	常設展示ワンポイント解説	「れきはく」の最新情報をご覧ください。
6/3 (金)	常設展示ワンポイント解説	「れきはく」の最新情報をご覧ください。
6/18 (土)	れきはくゼミナール	当館ホームページでも、最新情報をご案内しています
7/1 (金)	常設展示ワンポイント解説	「れきはく」の最新情報をご覧ください。
7/9 (土)	れきはくゼミナール	「れきはく」の最新情報をご覧ください。

行事日録（4～7月）

れきはく トリヴィア

こんなところもリサイクル

歴史博物館の赤煉瓦の建物は、もとは明治末期〜大正期に建てられた陸軍兵器庫です。戦後は金沢美術工芸大学の校舎に使用され、大学の移転を機に県に移管、昭和五十六年に県立歴史博物館として利用することが決定しました。当時は建物が傷んで荒れ果てた状態で、外部・内部ともに改造が施されていたそうです。「解体撤去すべき」との声もありましたが、歴史的に貴重な建物として、創建時の姿に戻して保存活用することになりました。保存調査と共に改修工事が進められ、よみがえった建物が博物館がオープンしたのが、昭和六十一年のことです。



第一棟中央階段

この時、三棟それぞれに異なる手法で構造補強が施されました。最も建築年代が古い第三棟は、撤去可能な鉄骨造パトレスで煉瓦壁を補強し、第二棟は鉄骨で構造部を補強しています。メインの展示棟である第一棟は、煉瓦壁を残して内部の木造を撤去し、鉄筋コンクリート造に置き換えています。これによって、耐火、耐震などの条件をクリアし、国宝・重文も展示可能な博物館施設として安全に利用されているのです。では、第一棟の木造部分はどつなつたのでしょうか。多くは廃棄されましたが、一部がリサイクルされ、現在も博物館に残っています。「いったいどこに？」と首をひねる方も見られますが、実はとてもよく目に

つく場所にあるので

レトロな雰囲気でも人気の第一棟の中央階段は、改修工事の際に、建物の年代に合わせたデザインで新しく作られたものです。なんと、この階段ホール周辺の木造部分に、第一棟内部から出た木材（発生材）が使用されているのです。階段と手すりはもちろん、窓枠やカーテン受けも発生材からできています。新設されたものながら、建物の雰囲気を引き立てる存在感があり、さすが創建当時の建材を使用しているだけのことはあります。



モニュメントの瓦

他にも、第一棟の展示室入口の木柱、総合案内所のどつしりしたカウンター、休憩コーナーや渡り廊下にある木製ベンチも発生材です。ベンチは時々「堅くて座りにくい」という苦情もありますが、座布団を掛けて、多くの方にご利用いただいています。

再利用されたのは木材だけではありません。第二棟と第三棟の間には辰巳用水石管のモニュメントがありますが、水をたたえた池の底をよくご覧ください。一見分からないかもしれませんが、池の底に立てた状態で瓦が敷き詰められています。改修工事の際に葺き替えられた古い瓦が波模様のように配置され、モニュメントに絶妙な変化をつけているのです。完成当時、中西前知事がこの瓦の模様を指して、「琳派の絵のよう」と称えたという逸話が残っています。リサイクルされた建物の中に、リサイクルされた建材が使用されている歴史博物館。単なる再利用ではなく、歴史の証人である建物を新たな形で後世に伝えたいという、当時の関係者の思いが伝わってきます。

トリヴィア＝雑学的な事柄や知識、豆知識

広告

やさしさ品質

会員募集中

ご来店ただただで10ポイントをプレゼント!

Mei《セゾン》カード

毎月3,000円のお積立てで1年後の満期時には1か月分のボーナスをプレゼント

名鉄クローバー友の会

65歳以上のお客様にうれしいサービス

エムザさくら倶楽部

もっとお客様へ、もっと地域に

MEITETSU MIZA めいてつ・エムザ 金沢市武蔵町15番1号 TEL代表(076)260-1111 http://www.meitetsumza.com/

平成二十三年度れきはくメイト 会員募集中!!

対象 どなたでも入会できます。 会員の期間 平成二十四年三月三十一日まで。 年会費 年額一〇〇〇円。 特典 展博の最新情報を随時送付。会員証の提示により、常設展の入場無料(特別展開催時は団体料金)。当館主催の各種行事に参加可。 定員 定員はありません。 入会申込・問い合わせ先 普及課 〇七六 二六二 三四一七

本多の森林から

三月十一日、未曾有の大震災が東北・関東を襲いました。特に大きな被害のあった三陸沖は、昭和八年の地震、また昭和三十五年のチリ地震による津波でも被害を受けています。歴史博物館の春季特別展は「昭和」をテーマとしたものです。昭和はまさに激動の時代、度重なる災害の他にも、世相を反映した事件が頻発。そして戦争によりおびただしい数の尊い命が失われました。恐慌から戦争へ、戦後の復興を果たし経済大国へ...。展覧会では「くらし」と「娯楽」を軸に、近くで遠い昭和時代を振り返ります。当時の人々がどのような生活を、何を思い、何を心のよりどころとしていたのか、その力強い軌跡から、少しでも希望を感じていただければ幸いです。最後になりますが、被災された皆様にお見舞い申し上げます。一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。